

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 3月 1日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2772403305		
法人名	有限会社 ウィズ・ケアサポート		
事業所名	グループホーム そおれⅡ		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型生活介護		
所在地	枚方市東田宮一丁目11番30号		
自己評価作成日	平成 22年 2月 13日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	
② 情報提供票を活用する場合	別紙 情報提供書の通り

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 2月 26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・ 私達は、常に入居者様とできることを考え、生き生きと生活できよう努めている。
- ・ 個々のスキルアップを兼ねた勉強会に参加し、向上心を高めている。
- ・ コミュニケーション技術の向上を目指し、信頼関係を築けるよう努力している。
- ・ 季節のイベントや行事などを企画し、生活上の楽しみを増やすよう努力している。
- ・ 理念に基づくケアの実践ができるよう、チームワークを大事にしている

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

ホームは平成18年3月の開設で、4年目を迎える、職員8名の内、半数の4名が3年以上の勤続であり、相互に気心が知れ、利用者は安定した生活を続け、ご家族も安心している。

運営者は、介護レベルの安定と安心して頂ける介護を重点とし、ホーム全体の管理資料を効率よく纏めて方針決定の基本としている。そのために業務マニュアルを定め、開設時から職員と共に活用して来ているが、職員全員はそのマニュアルを常に活用し、1年間で表紙がちぎれる程に閲覧し、内容も職員同士の改善提案があり、その他、外部資料も逐次追加され、毎年改訂版を作成しているのが現状である。

利用者のケア管理には、センター方式も交えて個人ごとの記録を、一定の時期には更新し、介護計画に利用している。

又、ホームでは管理の一つとしてヒヤリハット報告を活用し、各職員は月に10枚以上の報告書の提出を指示されているので、些細なことも構わずに提出し、それが毎月、数10枚ほどとなり、更に管理者が施設関係と介護関係に分け、それぞれ数項目に分類して介護改善に活用している

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケアの理念周知徹底するために、事業所内に掲示するとともに、勉強会あるいは、全体ミーティングで、再確認を常に行っている	運営者は、職員会議を毎月15日に定例として開催し、理念と運営方針の指導確認等を行なっている	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	自治会が機能していないのもあり、自治会へは加入はしていない。日常の散歩や商店の利用で、ごく普通に交流をしている	運営推進会議に出席して頂いている委員さんのお世話により、地元の老人方との話し合いの場を持っている	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区自治会からの依頼で、公民館で「グループホーム」の説明をさせて頂く機会を得た。今後も協力して行きたい	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を、2ヶ月に、一度開催して介護に活かしている	運営推進会議は地域の方々との交流の手がかりとなっているそして、2ヶ月毎に開催され、情報交流をして頂いている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所には、書類提出等で足を運ぶようにしている	市役所はホームの近隣にあり、手軽に訪問をして対話をし、質問、情報の交換が出来ている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	玄関からすぐに、急な階段があるので、玄関は常時施錠している。「身体拘束の防止」については、マニュアルあるいは「倫理要綱」で定めているが、今後さらに、ケアの充実に取り組みたい	利用者は少人数ではあるが、職員は常に動きを見守っている。介護への配慮は内部研修により、改善向上を進めている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「法令遵守マニュアル」等で虐待通報義務等には、明示を行っている。事業所内にも、資料等を掲示している		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見人制度の利用者はいない。法人代表者は、それらの知識や導入、活用等熟知しているため、今後必要に応じて研修を行いたい		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者、家族には時間を掛けて十分な説明と、納得を頂いている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「運営推進会議」や「行事への参加」「ケアプラン担当者会議」等への参加を積極的に呼びかけ、そのような機会にしている	2ヶ月ごとの運営推進会議には、ご家族の出席を頂いている。又、ご家族の来訪時での要望、意見等は直ぐに介護に活かしている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、それらを反映させている	定期的な面接、あるいは話し合い等の場を設けている	運営者は、職員の勤続に関係することなので、職員との対話を重視し、運営に反映している	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	「人事考課」等の実施等にて把握している		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人主体の研修会を定期的開催している。また、「資格取得支援制度」「外部研修参加支援制度」等の導入を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○ 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	包括支援センター主催のグループホーム連絡会に定期出席している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○ 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居当初は、スタッフの寄り添いを強化するよう指導している		
16		○ 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人のみならず、家族からの情報提供を頂けるよう説明と、対話を行なっている。今後のケアに活かせるよう、記録を行っている		
17		○ 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族、関係機関等から、情報が頂けるようにしている		
18		○ 本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできる能力に着目するよう努め、アセスメント等で、その見極め等を行い、介護計画書に反映するよう努めている		
19		○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との交流が、行えるよう、行事や会議あるいは、誕生会等の声かけを積極的に行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援	友人等の関わり方について、家族に確認を取ったり、又、会いに来てもらったりした事例がある	旧知の方や、以前、近所に住んでいた方々、更に、出会で知った方々にも、来て頂いている	
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○ 利用者同士の関係の支援	自然に助け合いができれば良いが、入居者様間のトラブルは、「ひやりハット報告書」でも多数報告されている		
		利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			
22		○ 関係を断ち切らない取り組み	入院後の経過報告等情報を得ながら、最期まで関わりを持つことが多い		
		サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○ 思いやり意向の把握	アセスメント等を活用し、そのような支援ができていないか、定期的に確認している	利用者一人ひとりの、的確な見取り記録が出来、ファイルされている。更に、より良い情報記録が出来るよう職員を励ましている	
		一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○ これまでの暮らしの把握	知りえた情報は、共有するようしたり、アセスメントを活用している。が、十分でないと感じている		
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○ 暮らしの現状の把握	アセスメントの活用や1か月に一度の振り返りで、努力している		
		一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○ チームでつくる介護計画とモニタリング	定期的に、サービス担当者会議（ケアプラン会議）を開催し、家族、スタッフとともに意見交換を行なっている。それらの情報を元に「ケアプラン」を作成している	運営者、計画作成者は介護記録を基に、より良い介護計画とするよう、職員と意見を交わしている	
		本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○ 個別の記録と実践への反映	1ヶ月に1度ケアプランの振り返りを踏まえて「個人記録」の見直しを行なっている。それらを「統括表」としてまとめ、ケアプランの見直しの根拠としている		
		日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	介護タクシーの利用等（同法人）で、個別の希望に応じた外出企画等を立案、実施した。家族との触れ合いにとっても喜ばれていた		
		本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる			
29		○ 地域資源との協働	地域の中での自立支援まで支援できていない。本人様の力を活かしたケアをしていかなければならないが、重度化もしており、難しい		
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	11	○ かかりつけ医の受診診断	全員がホームの指定医療機関を主治医としている。但し、他院受診も可能であり、そのような事例もある	週1回、内科医師の往診により、指導と処方箋を頂いている。適切な治療により、薬の量が、少なくなってきた利用者（複数）が居られる	
		受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○ 介護職員との協働	医師、看護師の週1回の定期訪問を受けている。医師らは、私たちの質問や入居者様の不安等に親身になって答えてくださり、とても安心している		
		介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○ 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	特別の関係作りは行っていないが、実際は、そのように支援している		
33	12	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「急変時の事前同意書」等を頂いている。これらを基に、今後も話し合いをしていきたい	医師、利用者、ご家族と職員とが合議しながら、方針決定をしている	
34		○ 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	医療的ケア技術の向上は、事業所の課題であり、今年度の研修内容に取り込んでいる。上級救命講習の修了者は、いるが、定期的に継続が必要なので、再受講を促していきたい		
35	13	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている	「非常災害時のマニュアル」等は完成したが、訓練は「消防訓練」しか実施できていない。今年度は、地震時の対応を話し合っていこうと思っている	職員による避難訓練は、昼間は年2回、夜間は年1回実施している。炊事場はIH方式となっている	消防署とは年1回、立会訓練と、話し合いを行なって欲しい
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている	人権に関する研修や接遇に関する研修を行ったり、努力している		
37		○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援 日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来ることは、入居者様に取り組むように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	そのように支援しているが、重度化やスタッフの人員配置上の課題もあり、さらに、努力を有すると感じている		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	外出時の衣装等には、特に配慮している		
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	そのように支援している	職員によるメニューと食材店からの仕入れと半分ずつとしている。医師の指導と、体重管理からカロリーは問題となっていない	
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	特に、栄養計算は行っていないが、体重管理や、食事、水分の摂取量は把握し、気をつけている		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	3食後の口腔ケアは、ほぼ確実に支援し、行って頂いている		
		口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	昼間は、オムツを使用しない方向で、ケアに当たっている。トイレの誘導間隔も、個人ごとに把握し、行っている	利用者の尊厳性のこともあり、職員は時間管理で、トイレ誘導を行っている	
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	水分と運動を励行しているが、下剤を服用されている方もいる		
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は、あらかじめ決まっているが、現状、特に問題はないと感じている	嫌がる方の入浴勧誘を含めて職員は、利用者の入浴を適宜に行っている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間等は、特に定めず過ごしてもらっている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	「服薬マニュアル」を定め、そのように支援している。服薬内容は、ファイルですぐ確認できるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	男性の方には、少し力仕事を、家事ができる方には、掃除、調理などのお手伝いをお願いし、生活して頂いている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、外食、買物等の支援を行っている。個別的な外出支援は、ご希望等をお伺いし、企画実施している。	近くに公園もあり、天気の良い日には、よく散歩をしている	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	お金は、所持していない。使用時は、ホームの建て替えて対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	電話は、希望時はスタッフが仲介し、かけることは可能である。手紙等は、居室に掲示するなどの工夫をしている		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	風の通りが悪いので、玄関を換気ができるタイプに変更した。大きな幹線道路が少し先であり、ホームからみた周辺環境はあまり良くない	広い道路に面しているが騒音は気にならない。居間と食堂は簡素ながら居心地よくしている。清掃も行き届いている。又、飾りも季節感を配慮されて普通の家庭の雰囲気がある	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホーム内のスペースが限られているが、椅子、ソファ等を設置を行い、そのように過ごせたらと努力はしている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具の持ち込みは、ほとんどない。が、写真、家族からの手紙などの掲示を行い、快適に過ごせるよう努力している	各個室は自由に家財を持ち込み、生活を楽しめるようにしている	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ等の場所の表示や、洗濯干しの位置等の工夫など、できるところは、そのように取り組んでいる		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		① ほぼ全ての利用者の
		○	② 利用者の2/3くらいの
			③ 利用者の1/3くらいの
			④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	① 毎日ある
			② 数日に1回程度ある
			③ たまにある
			④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	① ほぼ全ての利用者が
			② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています		① ほぼ全ての利用者と
		○	② 利用者の2/3くらいと
			③ 利用者の1/3くらいと
			④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		① ほぼ毎日のように
			② 数日に1回程度
			③ たまに
		○	④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		① 大いに増えている
			② 少しずつ増えている
		○	③ あまり増えていない
			④ 全くない
66	職員は生き活きと働いている	○	① ほぼ全ての職員が
			② 職員の2/3くらいが
			③ 職員の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う		① ほぼ全ての利用者が
		○	② 利用者の2/3くらいが
			③ 利用者の1/3くらいが
			④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	○	① ほぼ全ての家族が
			② 家族の2/3くらいが
			③ 家族の1/3くらいが
			④ ほとんどいない